

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第6部門第2区分  
【発行日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【公開番号】特開2003-195123(P2003-195123A)  
【公開日】平成15年7月9日(2003.7.9)  
【出願番号】特願2001-392931(P2001-392931)  
【国際特許分類第7版】

G 0 2 B 6/42  
G 0 2 B 5/00  
H 0 1 S 5/022  
H 0 1 S 5/183

【F I】

G 0 2 B 6/42  
G 0 2 B 5/00 Z  
H 0 1 S 5/022  
H 0 1 S 5/183

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月7日(2004.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

柱状を成す基体に入射光を90°の角度で光路変換させる傾斜反射面を形成するとともに、該傾斜反射面に周囲媒質より大きな屈折率を有する透光性媒質から成る半球体を設けたことを特徴とする光通信用光路変換体。

【請求項2】

前記基体は単結晶シリコンから成り、該単結晶シリコンの異方性エッチングを用いて傾斜反射面を形成するとともに、該傾斜反射面に光反射膜を被着形成したことを特徴とする請求項1に記載の光通信用光路変換体。

【請求項3】

高低差のある低位置面及び高位置面を形成した基板の低位置面に、面発光及び/又は受光を行わせる光半導体素子を配設するとともに、前記高位置面に前記光半導体素子に光接続させる請求項1または2に記載の光通信用光路変換体を配設したことを特徴とする光通信用光路変換体の実装構造。

【請求項4】

請求項3に記載の光通信用光路変換体の実装構造を備えるとともに、前記光半導体素子に前記光通信用光路変換体の傾斜反射面を介して光接続させる光ファイバの先端を対面させたことを特徴とする光モジュール。